

ビジネスデザイン専攻修士（課程レベル）アセスメント・ポリシー

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	広い視野と深い学識を持ち、高度の専門性を要する職業等に必要高度の能力及び専攻分野における研究能力を修得し、活用することができる。
DP2	高度の専門職業人に必要な知識・能力・倫理観を修得し、活用することができる。
DP3	市場の変化と消費者インサイトを見極め、企業が目指すミッション・ビジョン・バリューに基づきブランディングを実行し、ビジネスコミュニケーションをデザインすることができる。
DP4	時代と社会のニーズに応じて価値を創造し、新しいビジネスモデルを探索し構築することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP								責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4							
共通基礎アセスメント項目													
1	入学試験	入学定員充足率及び収容定員充足率によりアセスメントを行う。	○									研究科委員会	
2	GPA	GPA分布によりアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
3	成績評価	成績分布及び単位修得率によりアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
4	履修状況	履修登録率によりアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
5	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○								研究科委員会	
6	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。			○	○						研究科委員会	
7	地域活動	各地域活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。			○	○						研究科委員会	
8	退学率/休学率	退学率及び休学率によりアセスメントを行う。	○	○								研究科委員会	
9	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験条件充足率、受験率、合格率等によりアセスメントを行う。											実施している専攻のみ対象
10	学位授与	学位授与数によりアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
11	修了後の進路	就職率及び進学率によりアセスメントを行う。	○	○								研究科委員会	
12	修了時調査	修了時調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
論文作成過程アセスメント項目													
13	研究計画書	計画書評価シートにてアセスメントを行う	○	○	○	○						研究科委員会	
14	論文作成計画発表	計画発表評価シートにてアセスメントを行う	○	○	○	○						研究科委員会	
15	修士論文概要発表	修士論文ルーブリック評価にてアセスメントを行う。	○	○	○	○						研究科委員会	
16	修士論文審査	最終口述試験評価シートにてアセスメントを行う	○	○	○	○						研究科委員会	

ビジネスデザイン専攻（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	広い視野と深い学識を持ち、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力及び専攻分野における研究能力を修得し、活用することができる。
DP2	高度の専門職業人に必要な知識・能力・倫理観を修得し、活用することができる。
DP3	市場の変化と消費者インサイトを見極め、企業が目指すミッション・ビジョン・バリューに基づきブランディングを実行し、ビジネスコミュニケーションをデザインすることができる。
DP4	時代と社会のニーズに応じて価値を創造し、新しいビジネスモデルを探索し構築することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	広い視野と深い学識を持ち、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力及び専攻分野における研究能力を身につけていること。
DP2	本課程に原則として2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、本学学位規程に定める修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
DP3	新しいコミュニケーションのカタチをデザインし、価値創造のビジネスモデルを構築できる能力と高度の専門職業人に相応しい知識・能力・倫理観を身につけていること。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP									
DP1	<u>DP1</u>									
DP2	<u>DP1</u>									
DP3	<u>DP3</u>									
DP4	<u>DP3</u>									

備考
旧DP2については新DPに準拠するアセスメント・ポリシーでは測定不可のため、旧DP適用学生については最終口述試験および終了判定結果を用いてアセスメントを行う。